

取組事例発表

農業経営高校で「農業と環境」をテーマに出前授業実施

～廃棄物処理事業者から見たこれからの農業～

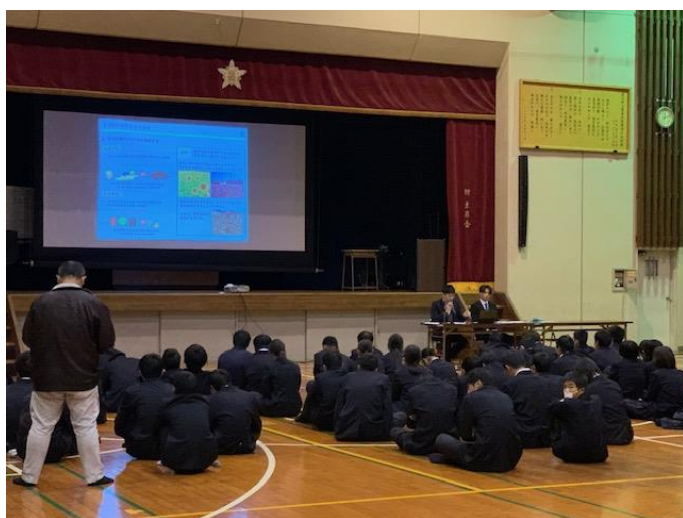
株式会社富士クリーン(所在地：香川県綾川町 代表取締役：馬場 太一郎)は、2024 年 12 月 19 日に綾川町の香川県立農業経営高等学校で「農業と環境」をテーマに出前授業を実施しました。農業分野と廃棄物処理の関わりについて重点的に専門的な内容も交えて説明させていただきました。

■ 当社の廃棄物処理と農業

綾川町内には水田や畑が多く、ハウス栽培も盛んに行われています。農業において環境負荷の低減は課題であり、持続可能な農業が求められています。当社富士クリーンも廃棄物処理から再生可能エネルギーの創出を通して循環型社会の形成を推進しております。そこから当社の農業分野からの廃棄物処理の知識や経験を環境教育で貢献できればと考え、今回、香川県立農業経営高等学校で廃棄物処理事業者として提供できる情報をご紹介します。



■ 出前授業の内容



「廃棄物処理事業者から見たこれからの農業」という表題で授業を行いました。本題のはじめは農業生産における肥料について、C（炭素）／N（窒素）の比の重要性と有機肥料と化学肥料の違いなど基本的なものを説明しました。次にメタン発酵による再生可能エネルギー利用について発酵のメカニズムを学習していただきました。最後に富士クリーンの新たな取り組みとして、現在進行中のカーボンフリーファーム等について発表させていただきました。授業の実施に当たり農業経営高校の先生方、生徒の皆様、ご協力いただき誠にありがとうございました。この出前授業がより良い農業の未来に少しでもつながれば嬉しい限りです。

本件に関するお問合せ先：

株式会社富士クリーン (087-878-3111) soumu@fujicl.com